

【ねがいましては】

平成26年5月26日

KYOWA SCHOOL

第283号

「怖くない」

ある日の新聞、「失敗することが怖くなくなった。」という記事が私の目に留まりました。この感想を述べていたのが、東京大学の学生さん。では何をされたのか？

『東京大学の新生が1年間休学し、留学やボランティアなどの活動に取り組む特別休暇制度の第一期生11人の活動報告会が開かれた。・・・中略・・・学生たちからは「異文化理解と、日本への愛着が深まった」「大学で学びたいことが定まった。』（記事より）

この制度は欧米ではかなり浸透しているようで、それをモデルにしているとのこと。「ギャップイヤー」と呼ばれているようで、勉強漬けになっていた学生たちに、前向きを身につけていただくことが狙いだそうです。

つまり勉強ばかりしていると（同じ環境の中にばかりいると）、内向的な気持ちが強くなってしまい、自ら外へ出ようとする気持ちがなかなか湧かなくなってしまう。これでは将来、社会貢献ができるのか不安になってしまう。このような現象を何とかしなければという大学側の考えがあったようです。

毎年のように繰り返される入試、大学合格のために、日夜勉強の日々を送られてきたでしょう。その意味では「合格」という二文字を手にすることが、自分の人生の最大の目標であったわけですから、前向きにとらえることもできそうです。何といっても東京大学です。「成績と呼ばれる世界」のエリートコースを歩んでこられた方々が多くいらっしゃるはず。成績上位、つまり失敗の少ない位置。なぜ東京大学がなぜこのような制度をはじめたのか。その答えがやはり記事の中にありました。

「受験勉強で身についた受け身の学習態度」

この一文がはっきりと物語っています。つまり「受験勉強ばかりしていると、受け身な性格になってしまいますよ。」と言っているように感じられます。当然彼らは小学校、中学校、高校と、国の定めた教育制度というルールを歩んできたはず。その中であってトップクラスの彼らたちが、なぜ内向的気質になってしまうのか。

先ほどの『受け身』だと感じます。受け身、つまり「やりなさい」という命令調の勉強に何の疑いも感じぬまま歩んできた学生たち・・・。ではなぜ不安を感じないのか、その答えは・・・「周りが皆そうだから」。

例えば、電車の中で、かなりの方がスマホを触っていらっしゃる。これがスマホなどない世界からいらっしゃる方が見たら、おそらくびっくりされるでしょう。でも周りが皆そうであれば、別に違和感なしになっているだけのこと。

つまり「勉強」というと、受け身が当たり前になっており、勉強＝テストが当たり前になっており、合格・不合格が当たり前になっている。結果、子どもたちに自然に身につけているのが、「間違えは良くないこと。」そして「受け身」。

誰でも間違えたくないのは当たり前、だから間違えないようにするにはどうしたら・・・と、考え始める。そしてたどり着いたのが、「内向」。

子どもたちに罪は一切ないと思います。そのようなルールを皆歩かされたら、きっと誰もが同じ心境に陥ってしまうでしょう。

さて、私たちは様々な人との係わり合いの中で生活しています。今回のこの「ねがいましては」でもそうなのですが、私は以前より前向きを題材に掲げたものを多く取り上げてきました。日々かわる子どもたちを見ていて、とても残念に感じてしまうことが多くありました。そのほとんどが後ろ向き・・・。なぜだろう、なぜ生きているのに、生きようとししないのだろう。思考を重ねているうちにある一つの答えが見えてきました。それが「制度」です。今の教育制度のあり方が、色濃く子どもたちに影響している。

よく、世界的にも日本の教育は優れているといわれます。それはどこからそう判断しているのでしょうか。おそらく、OECDの行っている「学力到達度調査」などの結果からなのでしょう。私は教育という二文字の定義が少し違うと感じています。私の思う教育とは、「子らがどれだけ前向きな気持ちになったか」だと思っています。

つまり、学校を卒業したときに、「よーし、やってやるぞ」というような「生きてやる」的な、明らかに、今、生まれてきたばかりの赤ちゃんのような勢いを身につけることが真の「教育」ではないかと思えます。

確かに世界へ向けて旅立つには、語学は必要でしょう。最先端に行く日本の科学技術をさらにパワーアップさせるには、高度な理科や数学の知識も必要でしょう。ほんのりと温かい気持ちにさせられる言葉に出会うには「国語」も必要です。私という人が今、世界の中であってどのような状態にあるのか、歴史や地理、政治経済を学ぶことで、これからの自分を見つめることができるでしょう。どの世界をとってみても、子どもたちが目を輝かせることのできるものばかりであるはず。

自由に歩いてごらん。何を学んでも学びには変わりはないのです。ただひとつ、思い描いていただきたいことがあります。それは、人の笑顔を思い描いてください。自分の学んだことが、やがて人々の笑顔に結びつくことを夢見ながら学んでください。けっして自分だけのためではなく、他人のために生きることのできる力を育ててください。

今日もやってきました。「やっぱりここが一番勉強しやすいな」ある高校生の一言です。ありがとね。